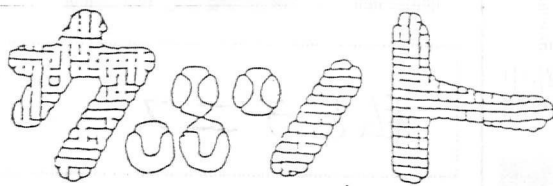


Since, 5. 1972



東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

コート取り当番クラブ

発行責任者・柳 利夫

9月	10月分のコート	諏訪B
10月	11月分のコート	美住A
11月	12月分のコート	美住B

住所・東村山市萩山町
5-6-26, 301号

編集責任者・黒岩俊雄

☎ 0423-(95)4336

秋期市民大会日程・再掲

月日	種目	予備日
9月10日	男子ダブルス B	10月 8・22・29日
9月15日	女子ダブルス A・B	
9月17日	男子ダブルス A 壮年ダブルス	11月 3日
9月23日	男子シングルス B	
9月24日	女子シングルスA・B 壮年シングルス	市民テの皆さん 合宿の成果を存分に 発揮され、満足のい く成績を残されます よう期待します。
10月 1日	男子シングルス A	

9月のコート情報

練習内容	曜日・時間	練習日
久米川コート 定期練習	(土) 9:00~18:00 (日) 8:00~18:00	2, 9, 16, 30, 3,
恩多コート 早朝 ナイター (3面)	(土) 7:00~ 9:00 (日) 7:00~ 8:00 (水) 7:00~ 9:00	2, 9, 16, 30, 3, 10, 15, 17, 23, 24, 6, 13, 20, 27

9月は、秋期市民体育大会のため日曜・祝日は、公式戦が入っていますので練習はできません。！土曜日とナイターを積極的にご利用下さい。

なお、公式戦の観戦は試合の進め方の参考になることが多いので、是非お勧めします。また、その際はラケット持参を心掛けられると、連盟会員としての練習チャンスがあるかもしれません。

萩山クラブ夏の合宿記

この春、萩山クラブは、その存命をかけて大リストラを断行した。村田さんを北海道支店へ飛ばし、中澤さん一家には3名まとめて八戸村へ村おこし要員として出てもらい、筆者(佐藤)にいったては、南海の孤島、台湾へ島送りにされたのである。おかげで主力選手を欠くことになったはずだが、スリムになった分、あるいは静かになった分、力が結集できたのだろうか、春の団体戦では、男女とも2位の好成績をおさめている。この勢いをかっての今度の合宿は、当然盛り上がり方が違っていた。

さらに盛り上がりの内容をおかしなもの、違った、豊かなものにしてくれたのが、青葉の若大将藤岡さん、主婦の友、おじさん族のアイドル阿まん夫妻、あこがれの浜お姉さま、恩多のプレーボーイ山本さん、一緒に居るだけでたのしい上野ママ、諏訪の貴夫人小武海さん達、7名の特別参加の方々ではある。

8月19日(土)朝6時 久米川駅前。

今日も猛暑を約束したかのような真夏の太陽は、すでに頭上にある。毎年集合時間に遅れて来る古村さん、今年は早い。盛り上がりを見せている証拠である。

後から来ることになっている山崎さんを除いて22名全員定刻に集合、一路山中湖村へ向け出発。途中大きな渋滞にも遭わず、アッと言う間もなく宿に着いてしまったらしい。(筆者は連日の宴会疲れで寝ていたため道中のことは知らない)

あとは宿の真ん前にある4面のコートで雄大な富士山を眺めながら皆んなでビール飲み大会、いやテニス三昧。真っ赤な太陽が富士の陰に隠れるまで飲み続け、いや打ち続け、夜の部に移る。

ところで筆者はこの駄文を台湾で書いている。

このあと、広報部長にFAXで送ることになっているのだが、ここ台湾は大方の期待に反してまだ風俗に関しては完全に自由化されていない。従って、誠に申し訳ないが、夜の部についての報告は残念ながら割愛せざるを得ない。書けば検閲にあい筆者は国外追放間違いないからである。

それほど大変な夜の部であったということである。一言だけ言えば、大川座長率いる「萩山芸能一座」は、今年もやってしまったのだ。名幹事、森田、上田両氏のヤラセに乗せられた感無きにしもあらずだが。

みなさん来年は、LIVEで楽しんでみませんか。

最後に、私事を言って申し訳ないのですが、日本滞在中、連日遊んで戴いた皆さんに心からお礼申し上げます。今日からまた異国での孤独な一人暮らしが始まります。来年の夏の合宿にも参加できるよう、今からスケジュール調整をすることにします。ぜひまた誘ってください。

それでは、市民テのみなさん、お元気で、さようなら

1995・8・25 萩山クラブ 佐藤多喜男



今月のテニスショップフジによる
用具指導日は、秋期市民大会
のため、中止とさせていただきます。



美住・諏訪合同合宿

第1日目は、東村山駅前にAM6:00集合し、各車に分乗し一路中央高速を飛ばす。AM9:00過ぎに着くやいなや、早速テニス練習開始。午後主にもスクールを行い技術力をUP。



ナイターは、バーベキュー・ミーティング・ビンゴ・□□□□(殆ど掲載不可)などで過ごす。詳細は鈴木会長まで。



第2日目・第3日目は、団体戦や混合ダブルスを楽しむ。

テニス用語・おさらい **Volley** 某紙より抜粋

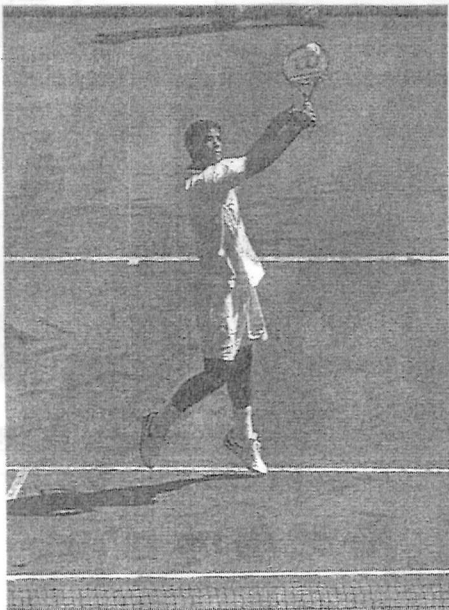
『ボレー』はvolare/ volata (イタリア語) volar/ volea(スペイン語) voler/ volee(フランス語) — いずれも前の語が動詞、後の方が名詞 — と、みなラテン語から借りて使っています。英語のvolleyは、フランス語からの又借りで、1573年頃が初出といわれている。

本来の意味は全て同じで、鳥や弾丸などが飛ぶことですが、スポーツ用語としてのボレーは「ボールがプレイング・サーフェイスに着かないうちに打ち返す」ことで、サッカーでもボールがグラウンドに着かないうちに蹴ることを『ボレーキック・ボレーシュート』と称しています。

1895年にアメリカのウィリアム・モーガンが考案した『バレーボール』も、ボールがコート面に着く前にしかプレー出来ないため、こう名付けられた。『バレー』はボレーのアメリカ式の発音です。

テニスでボレーが今日見られるような攻撃の武器として明確に意識され、かつ、使われて効果を発揮したのは、文献の上では1877年の第1回ウィンブルドンの時が最初のようにです。

これを武器としたのは、ラケット(スカッシュの全身)の名手といわれ、5試合を勝ち抜いて優勝、初代チャンピオンとなったスペンサー・ゴアですが、当時はこのような打法を「卑怯だ」とする空気もあり1880年代に入って有名なレンショウ兄弟活躍するまでは、他のプレーヤー達にあまり重視されなかったようです。



私とテニス

青葉クラブ

中島 富士子

今年の1月から市民テに参加させて頂き、早いもので半年が過ぎました。知り合いもあまりなく、新人ということで要領がわからず、しかもみんなすごく上手い方ばかりで、なかなか練習に行きづらいものもありますが、コートに行けば先輩の方々が、「次、打てるわよ」等々声をかけて下さるので、毎回感謝しています。この何でもないような一言が、新人には何とありがたいことか——。市民テの明るさとパワーに慣れ、少しでも多く練習に参加したいと思います。

さて、私とテニスですが——

私がテニスを始めたのは中学生の頃で、やはり多くの例にもれず「エースをねえ!」と「スコート」にあこがれてのことでした。親にわがままを言って私営のスクールに通わせてもらったのですが、そこのジュニアクラスで一時限中素振りばかりやっていたという思い出だけが残っています。(何でお金を払って素振りをしなくちゃいけないのよー)と頭の中で文句を言いながらも、高校生になるまで通い続けました。「フォームがしっかりするまで、ボールは打たない方がいいんだよ」という当時のコーチの言葉でしたが、今から思えば、そのコーチも子供と一緒にずーと素振りに付き合っていた訳ですから、さぞかし大変だったろうなあと思います。

一番テニスに時間を費やしたのは、高校時代です。数少ない試合出場の座をめざして、みんなが朝、昼、放課後と練習するので勉強する暇だっではありません。また、ダブルスで負けたりするとパートナーのせいだと思ひこみ、自分の罪を認める余裕すらなくなる状況でした。私はこの時期に、すっかり「ダブルス恐怖症」になってしまい、今だにダブルスとなると、あの頃の暗い思い出がよみがえってきて、消極的になってしまうのです。

その後も私営クラブのスクール等に通ってテニスを続けていましたが、就職等で機会を失い、(ボールを打ちたいなあ)と思いながら、この市民テに参加させて頂くまで三年が過ぎてしまいました。テニスというものは、技術が身につくまでにはさんざ時間がかかったくせに、忘れるのが何と早いことか!!ラリーすら思うように続けられなくなったのには、自分のことながら驚きました。

今は、日曜日に、練習とスクールで指導を受けさせて頂き、一から出直しているところです。青葉クラブの夏合宿にも参加予定ですが、きつそうなメニューについていけるか不安です。足を引っぱるとは思いますが、これからもよろしく願います。

編集後記

作る苦勞を知って、読めることに感謝
します。多くの方々の力があって、今日も
楽しくテニスができるということも、いつも
忘れずにいたいと思います。 Y.H